

第2回地域鉄道における運転士確保に向けた緊急連絡会議における意見交換内容（概要）

1. 国における取組み

(1) 運転免許受験資格の見直し(年齢要件の緩和)

- 若年者の雇用拡大につなげる観点から、運転士の受験資格の年齢要件の見直し(20歳→18歳)
- 令和6年7月1日省令改正(公布・施行)→10代で国の動免試験に合格した者1名(R6.12)

(2) 鉄道分野における外国人材の活用

- 外国人材の活用に向けて、在留資格「特定技能」の対象分野に運輸係員業務を含む鉄道分野を追加(R6.9)。

(3) 鉄道事業等及び自衛隊における人材確保の取組に係る申合せ

- 退職自衛官の活用に向け、鉄道事業等への再就職の促進に向けて防衛省と連携していくことを調整中
- 具体的には、退職自衛官向けの鉄道事業等の業界説明会の開催等への協力

2. 事業者における取組み

(1) 第1回緊急連絡会議(R6.2)以降に実施した運転士確保に向けた取組等の周知(R6.10)

(1) 採用・広報活動

- 6事業者が学生向けの広報活動（学校訪問、見学受入）に取り組み、その結果、2事業者が将来の運転士候補生として内定（高校生3名、1名）

(2) 運転士養成

- 運転士の養成に必要な費用の助成制度（厚生労働省の人材開発支援助成金）を新たに5事業者（計16名）が活用

(3) 運転士確保に対する自治体支援事業

- 自衛隊と弘前市が公共交通の維持確保に必要不可欠な運行に係る人材確保に向けて協定を締結し、協定に賛同する鉄道事業者において退職予定自衛官を対象としたインターンシップを開催

(2) (1)の周知以降、新たに実施した運転士確保に向けた取組等（R7.2）

【運転士確保に向けた取組の例】

※対象事業者数：172社局

○採用・広報活動【50社局】

- ・動力車操縦者運転免許所持者に対して中途採用実施【14社局】
- ・学校訪問の実施・拡大【13社局】
- ・新たに採用区分として中途採用を設定【11社局】
- ・民間が運営する求人サイトに募集情報を掲載【10社局】
- ・SNSでの求人情報の広報を実施【7社局】
- ・ハローワークと連携し説明会を開催【5社局】
- ・試験の複数回実施など採用機会を増加【4社局】
- ・乗務員専門職採用の実施【4社局】
- ・運転士の業務を体験するインターンシップを開催【4社局】
- ・一般公開しているイベント内で採用活動を実施【4社局】
- ・新たに採用区分として高卒新卒を設定【2社局】

○計画的な運転士養成【12社局】

- ・免許を所持していない者に新たに免許を取得させる(自社養成・委託養成)【8社局】
- ・他部署所属の運転免許保有者の教育訓練等の実施【4社局】
- ・運転士の養成に要する費用の助成制度（人材開発支援助成金）の活用【2社局】

○待遇・労働環境の改善【13社局】

- ・初任給アップ、住宅手当の支給など待遇面の改善を実施【7社局】
- ・希望者の休日数を増加させる(時短行路の設定)などの待遇改善【7社局】

○自治体との協力など【2社局】

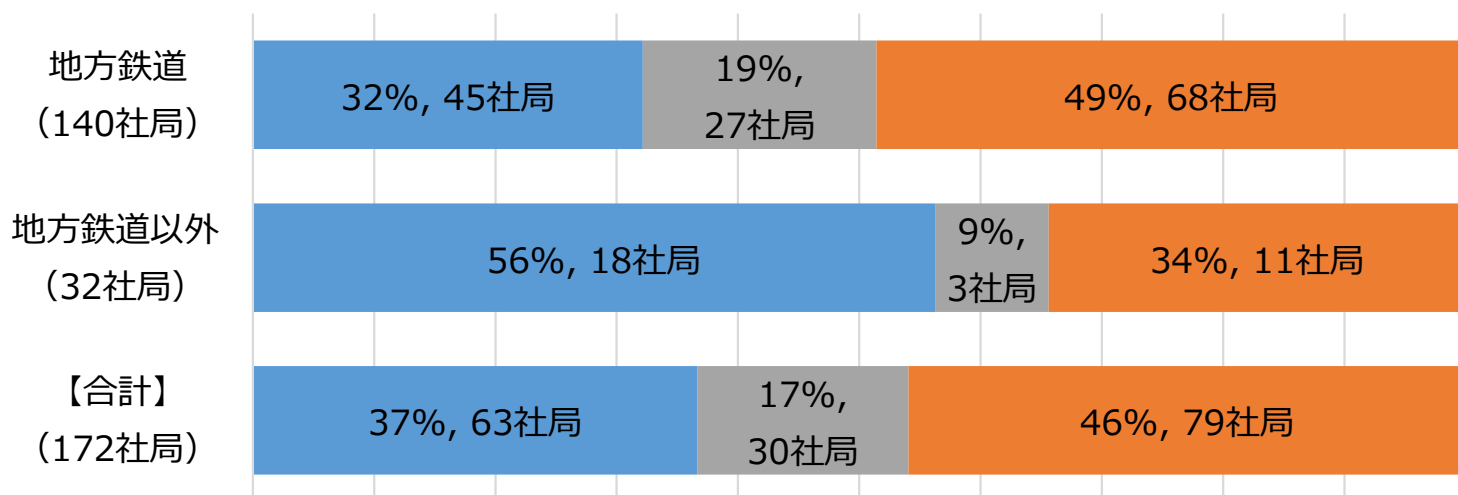
- ・全戸配布する自治体発行の広報誌に社員募集の広告投入【1社局】

現行ダイヤに必要な運転士の過不足に関する状況について

※R7.2調査結果

全国の運転士の過不足状況（172社局）

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 余裕あり ■ 過不足なし ■ 不足あり

注) 「地方鉄道」とは、本資料において、地方鉄道以外(JR、大手民鉄及び公営地下鉄)を除く鉄軌道事業者を指します。

○地方鉄道（140社局）

	関東	中部	近畿	左記以外の地域	【合計】
余裕あり	12	10	6	17	45
過不足なし	11	2	2	12	27
不足あり	11	16	10	31	68
【合計】	34	28	18	60	140

○地方鉄道以外（32社局）

	関東	中部	近畿	左記以外の地域	【合計】
余裕あり	8	1	5	4	18
過不足なし	1	0	1	1	3
不足あり	4	2	3	2	11
【合計】	13	3	9	7	32

○【合計】（172社局）

	関東	中部	近畿	左記以外の地域	【合計】
余裕あり	20	11	11	21	63
過不足なし	12	2	3	13	30
不足あり	15	18	13	33	79
【合計】	47	31	27	67	172

【参考】令和6年2月2日の緊急連絡会議以降の 地方鉄道における採用者及び内定者に関する状況について①

○ 採用者及び内定者の志望理由(集計結果)

単位は特記ない限り [社局数]

志望理由		属性		高卒	短大・ 専門・ 高専卒	大卒	社会人	合計	割合
業界 興味 への	鉄道に関心があり鉄道の仕事につきたいため。			25	12	12	35	53	55%
	(上記の内数) 運転士になりたいため。			15	10	8	30	41	43%
	(さらに上記の内数) 既に免許を所持している者						7	7	7%
地域 への 貢献				36	24	27	28	65	68%
	(内数) 地域交通の重要性を感じたため。			22	14	6	4	32	33%
	(内数) 社会貢献・地域貢献をしたいため。			18	11	20	20	42	44%
	(内数) 地域の魅力をお客様に伝えたいと感じたため。			4	6	9	11	20	21%
学校訪問・企業説明会・職場見学等を通じて会社に興味を持ったため。				20	14	0	2	27	28%
良い職場環境と感じたため。				10	4	1	10	21	22%
親族に鉄道関係者がおり興味があつたため。				3	1	1	0	4	4%
鉄道に関する学校を卒業したため。				3	3	0	0	5	5%
地元企業への就職(例:Uターン)を希望していたため。				2	5	2	15	23	24%
その他				1	0	0	2	3	3%
合計[社局数]				61	36	32	58	96	100%
合計[人数]				193	144	126	321	784	
割合[人数]				25%	18%	16%	41%	100%	

※各項目において重複して回答のあった項目があるため、表中の志望理由の合計と属性の合計は必ずしも一致しない。

○ 採用及び内定に繋がったと考えられる自社の取組

※対象事業者数：94社局

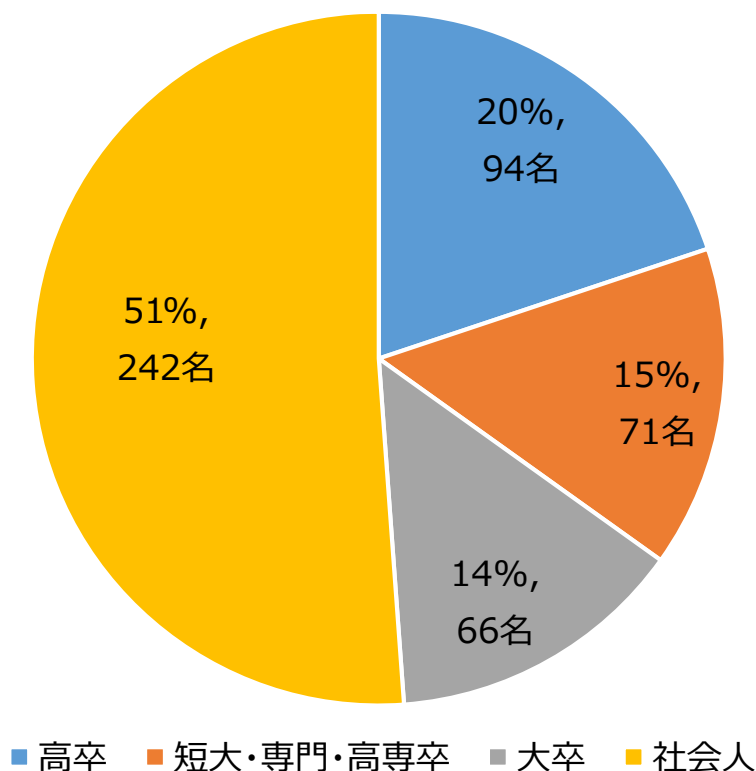
- ・学校訪問の実施・拡大 【29社局】
- ・自社ホームページに求人情報を掲載 【20社局】
- ・民間が運営する求人サイトに募集情報を掲載 【18社局】
- ・会社説明会・職場見学・就業体験等で、様々な現業職場の案内を実施 【18社局】
- ・就職説明会の開催・合同説明会への参加 【18社局】
- ・ハローワークでの求人募集 【8社局】
- ・電車中刷り広告での求人活動 【6社局】
- ・SNSでの求人情報の広報を実施 【6社局】
- ・採用活動について通年募集化 【6社局】
- ・給料の見直しなど待遇改善 【5社局】
- ・車両基地の見学ツアーなどイベント開催 【4社局】
- ・乗務員専門職採用の実施 【2社局】
- ・募集対象を高卒のみではなく大卒・社会人に拡大 【2社局】
- ・ワンマン運転の際の運賃収受時など、日頃から利用者とコミュニケーションを図っていること 【2社局】
- ・卒業生の活躍状況が分かる資料を作成し、学校の進路指導室に掲示してもらうよう依頼 【1社局】
- ・採用後、運転業務以外の業務(例:イベント企画等)に携われること 【1社局】
- ・会社の合併により、他事業の求人応募に鉄道の募集を追加 【1社局】
- ・職員を対象としたお客様に対する接遇講座の実施により、職員の接客マナーが向上したこと 【1社局】

【参考】令和6年2月2日の緊急連絡会議以降の 地方鉄道における採用者及び内定者に関する状況について②

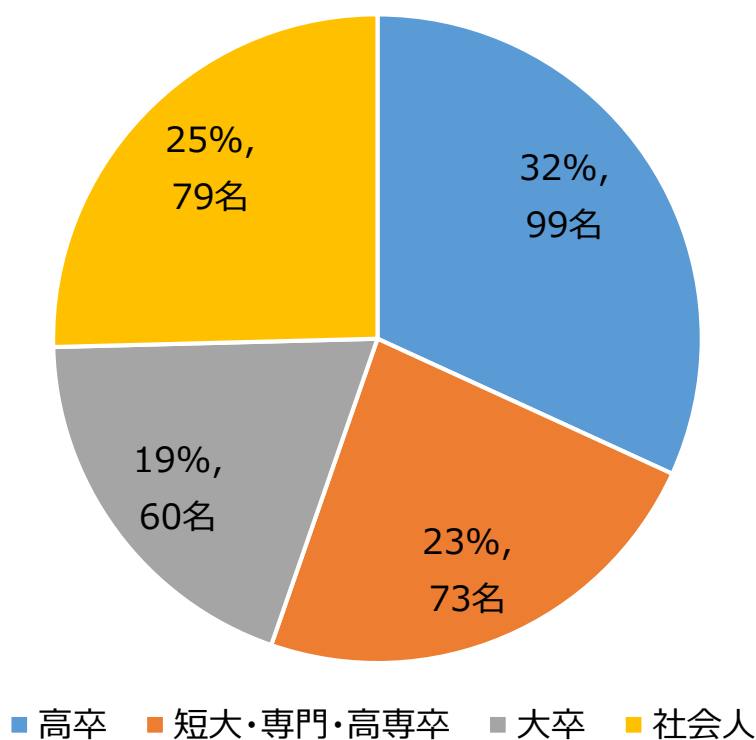
※R7.2調査結果

○採用者及び内定者の属性（計784名）

採用者の状況（89社局,計473名）



内定者の状況（83社局,計311名）



※集計値は表示未満の値で四捨五入しているため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない

<P. 1 1.(1)及び2.(1)関連>

「運転士確保に向けた緊急連絡会議(令和6年2月)」以降に実施した取組等

「地域鉄道における運転士確保に向けた緊急連絡会議」の開催

○ 鉄道事業者が行っている創意工夫や効果的な対策、国の取組みなどについて意見交換。

- ・ 日 時：令和6年2月2日
- ・ 場 所：国土交通省会議室〔Web併用〕
- ・ 構成員：鉄道事業者（165事業者）、関係団体（3団体）、国土交通省



フォローアップ調査実施

運転免許受験資格見直し (年齢要件の緩和)

○ 令和6年7月1日省令改正

	改正前	改正後
受験資格年齢	20歳以上	18歳以上

10代で国の動免試験に合格した者1名
(R6.12運転免許証交付)

フォローアップ調査の結果を全国の鉄軌道事業者に周知(R6.10)

主な取組事例(R6. 6時点)

(1) 採用・広報活動

○ 6事業者が学生向けの広報活動(学校訪問、見学受入)に取り組み、その結果、2事業者が将来の運転士候補生として内定(高校生3名、1名)。



山陽電気鉄道(株)提供



えちごトキめき鉄道(株)提供

(2) 運転士養成(助成制度の活用)

○ 運転士の養成に必要な費用の助成制度(厚生労働省の人材開発支援助成金)を新たに5事業者(計16名)が活用。



関東鉄道(株)提供



伊賀鉄道(株)提供

(3) 運転士確保に対する自治体支援事業

○ 自衛隊※と弘前市が公共交通の維持確保に必要不可欠な運行に係る人材確保に向けて協定を締結し、協定に賛同する弘南鉄道(株)において退職予定自衛官を対象としたインターンシップを開催。

(※防衛省自衛隊青森地方協力本部)



弘南鉄道(株)提供



弘南鉄道(株)提供

<P. 1 1.(2)関連>

特定技能制度への鉄道分野の追加

- 鉄道業界における人手不足への対応のため、外国人材の活用に向けて、輸送の安全確保を前提に、専門性にも配慮しつつ、令和6年3月、特定技能制度へ鉄道分野を追加。

軌道整備※

軌道検測作業、レール交換作業、
バラスト交換作業、まくらぎ交換作業等

電気設備整備

ケーブル・管路、信号機、転てつ機、
軌道回路等の電気設備修繕、点検作業等

車両整備※

鉄道車両のメンテナンス作業等

車両製造

鉄道車両、車両部品の製造等

運輸係員

運転士、車掌、駅構内のポイント操作を行う駅係員等

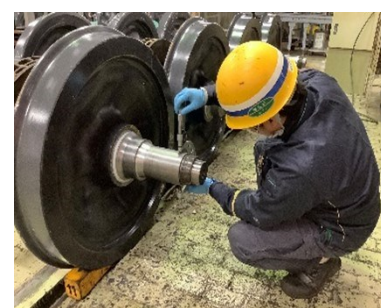
※技能実習制度の職種（鉄道施設保守整備、
鉄道車両整備等）からの移行が可能



軌道整備イメージ
(レール交換作業)



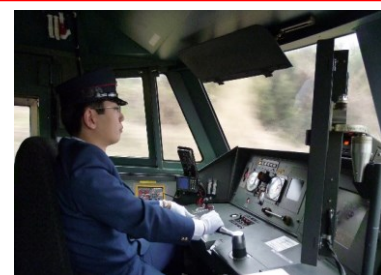
電気設備整備イメージ
(転てつ機点検作業)



車両整備イメージ
(輪軸検査作業)



車両製造イメージ
(配線配管作業)



運輸係員イメージ

【受入見込み数】最大3,800人(2028年度まで)

* 上記5業務区分のうち、運転士を含む運輸係員は、運輸指令とのコミュニケーションや異常時の避難誘導等の緊急時の対応が求められるため、他分野よりも一段高い日本語能力試験N3に加え、日本語による技能評価試験により専門用語や異常時を含む対応を確認。

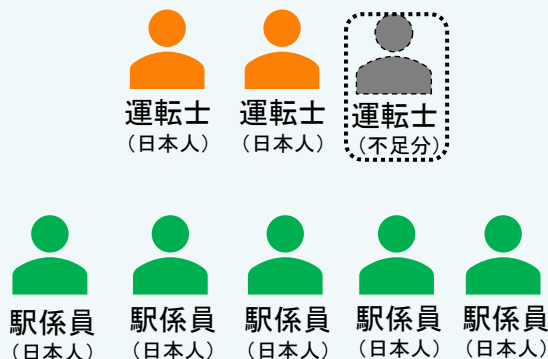
<P. 1 1.(2)関連>

運転士の確保に向けた特定技能外国人の活用イメージ(一例)

○駅係員に特定技能外国人を採用し、余剰となった日本人を車掌や運転士に配置換えを行うことも可能
 ※車掌や運転士への特定技能外国人の採用も可能

ワンマン運転の場合

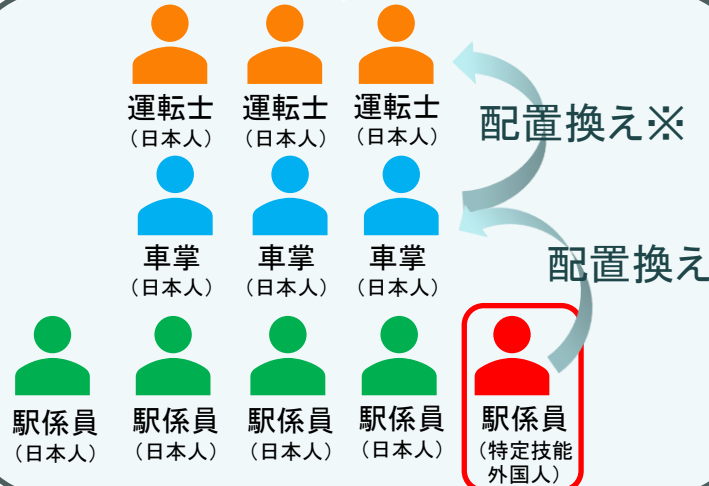
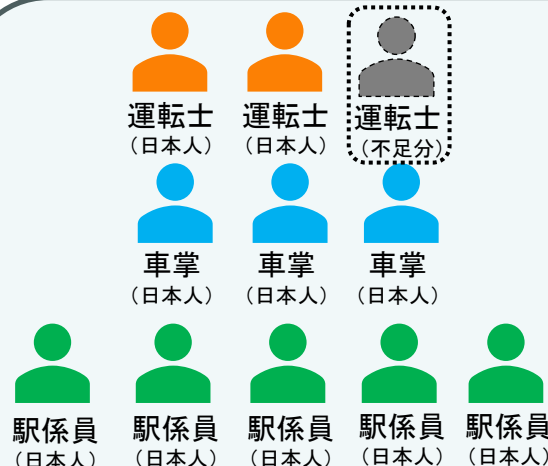
現行(運転士不足)



特定技能外国人活用後



車掌ありの場合



※運転士は「動力車操縦者運転免許」が必要

再就職先の拡充に関する関係省庁との連携

自衛官の処遇・勤務環境の改善及び
新たな生涯設計の確立に関する関係
閣僚会議（第3回）資料より抜粋

関係省庁と防衛省が連携して、幅広い業界へ働きかけを行うことにより、退職自衛官の再就職先を拡充

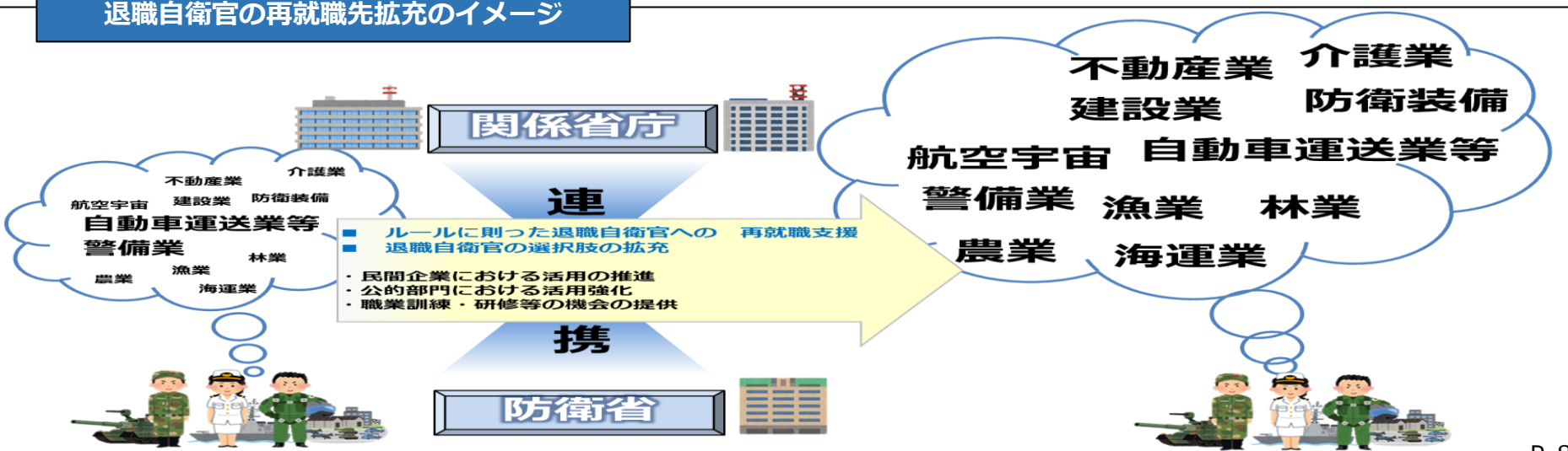
現状・課題

- 防衛省はこれまで、業界や関係省庁と連携し、退職自衛官活用の**広報、インターンシップや業種説明会**の開催などの取組を実施
- 関係省庁と連携した**研修等**（車両運転体験会、農業研修など）のほか、防衛省独自の**各種職業訓練**（自動車運転、電気通信技術、危険物等取扱など）機会の提供といった支援を実施
- 今後さらに、自衛隊で培った知識・技能・経験を活かして引き続き社会で活躍していくことができるよう、退職自衛官の**再就職先を拡充**する必要

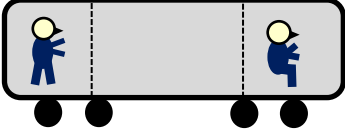
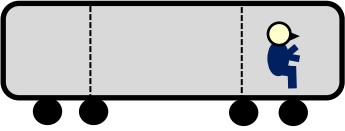
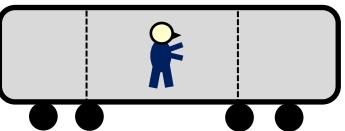
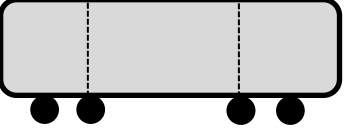
方向性

- 関係省庁による所管する各種業界への**退職自衛官活用のより一層の働きかけ**（防衛省との連名の文書による働きかけや、**業界も含めた申合せの締結**）【警察庁、総務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、**国土交通省**、防衛省】
- 関係省庁とも連携し再就職のための**職業訓練・研修・その他学び直し等の機会の提供**などを通じて退職自衛官への支援の強化【文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、防衛省】
- 隊員の二ーズや労働市場を踏まえた**職業訓練の充実**及び自衛官のキャリアパスなどの動画による**援護広報の強化**【防衛省】

退職自衛官の再就職先拡充のイメージ



鉄道の乗務形態による分類(自動化のレベル)

自動化レベル	乗務形態のイメージ	国内の導入状況
GOA0 目視運転 TOS	 運転士(および車掌)	路面電車
GOA1 非自動運転 NTO		踏切がある等の一般的な路線
GOA2 半自動運転 STO	 運転士 ＜役割＞列車起動、緊急停止操作、避難誘導等	一部の地下鉄 等
GOA2.5 ※IEC及びJISには定義されていない 日本が独自に設定したレベル	 運転士以外の係員が列車の前頭に乗務 ＜役割＞緊急停止操作、避難誘導等	JR九州 香椎線 (2024年3月16日より営業運転開始)
GOA3 添乗員付き自動運転 DTO	 列車に乗務する係員 ＜役割＞避難誘導等	一部のモノレール
GOA4 自動運転 UTO	 係員の乗務無し	一部の新交通 等

GOA: Grade Of Automation

TOS: On Sight Train Operation,

NTO: Non-automated Train Operation,

STO: Semi-automated Train Operation,

DTO: Driverless Train Operation,

UTO: Unattended Train Operation

※IEC 62267 (JIS E 3802): 自動運転都市内軌道旅客輸送システムによる定義

(IEC: 国際電気標準会議 (International Electrotechnical Commission) 電気及び電子技術分野の国際規格の作成を行う国際標準化機関)

香椎線の概況

- さいとさき うみ
・西戸崎駅～宇美駅間
(25.4km単線 全16駅 非電化)
- ・踏切数:47箇所
(第1種:46箇所、第4種:1箇所)※2024年3月時点
- ・踏切がある等の一般的な路線での自動運転は日本初。

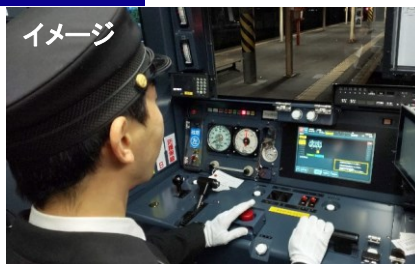


蓄電池電車(DENCHA)



列車に乗務する係員の作業イメージ

- ・列車の前頭(運転席)に運転士ではない係員(GOA2.5係員)を乗務させ、異常等を認めた場合の緊急停止操作、緊急時の避難誘導、ドア扱い等を行う。



走行中は左手を緊急停止ボタンに添えるのみ(右手は姿勢安定のための取っ手)。

係員 資格・作業	運転士	GOA 2.5係員	車掌
運転免許	取得	未取得	未取得
列車の操縦	○	—	—
緊急停止操作※	○	○	—
避難誘導	○	○	○

※列車の前方の線路を視し、列車運行上の障害となる事象が発生したことを認めた場合に行うもの。

導入に向けたスケジュール

2017年 3月	JR九州において検討開始
2019年 12月	西戸崎駅～香椎駅間で夜間走行試験開始
2020年 12月	香椎線で実証運転開始
2023年 8月	「ATS-DKベースGOA2.5自動運転実現検討委員会」とりまとめ
2024年 3月16日	GOA2.5係員が乗務する自動運転の営業運転開始

課題

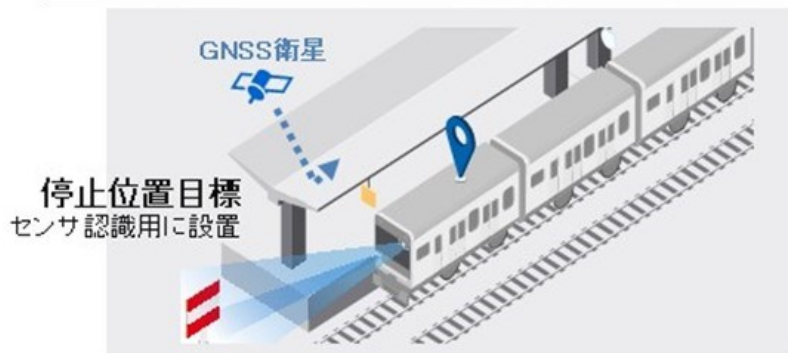
- 人口減少や高齢化の進行に伴う将来的な鉄道の運転士不足によって、列車運行を維持できなくなることがないように、**運転業務の効率化・省力化**が必要。
- 自動運転システムを地域鉄道等に導入しようとする場合、車両と地上に自動運転用の装置の設置が必要であり、それらの**設置費用と維持コストの低減**が必要。



概要

- 自動運転には、駅の停止位置等の位置情報が必要。
- 既存のATOでは車両の速度発電機による位置演算を行いつつ、地上子により位置情報を補正。
- 線路のデータベースを基にGNSS(全球測位衛星システム)＋車載カメラ、LiDARで捉えたランドマーク(看板)＋加速度センサーにより、**安価かつ高精度に位置情報を算出する技術を開発**。

自己位置検知システムの開発(ATO地上子なし)



車載カメラ・LiDARの小型化



車両に組み込める
よう小型化試作
※列車外仮設品に対して
2割ほどの体積に小型化

※1 ATO: Automatic Train Operation(自動列車運転装置): 列車を自動運転するシステム。

※2 GOA2.5(自動運転レベルの一つ): 運転士の資格を持たない係員が列車の運転台に乗務し、異常時に緊急停止等を行う形態。

※3 LiDAR (Light Detection and Ranging): レーザー光を使って物体までの距離や方向を測定する技術。

【参考】
第1回緊急連絡会議(R6. 2)以降の運転士不足等によるダイヤ改正一覧

	事業者名	プレスリリース 年月日	ダイヤ改正年月日	備考(プレスリリースタイトル及びURL)
1	熊本市交通局	2024年6月19日	2024年6月29日	市電のダイヤ改正について http://www.kotsu-kumamoto.jp/kihon/pub/detail.aspx?c_id=3&id=1503&pg=1
2	長野電鉄	2024年8月9日	2024年9月11日 ～2024年12月10日	特急列車(一部)の運休について
3	四国旅客鉄道	2024年8月2日	2024年9月29日	2024年9月一部ダイヤ改正について https://www.jr-shikoku.co.jp/03_news/press/aed72a4ef0fca6b46e22d83437c00dad9bc58a8e.pdf
4	天竜浜名湖鉄道	2024年12月12日	2024年12月21日 ～2025年3月14日	減便について https://www.tenhama.co.jp/events/29150/
5	肥薩おれんじ鉄道	2025年1月10日	2025年2月1日	一部列車の運休につきまして https://www.hs-orange.com/page1010.html?type=new&pg=1&nw_id=1
6	熊本電気鉄道	2025年1月7日	2025年2月3日	『列車』のダイヤ改正について https://www.kumamotodentetsu.co.jp/news/202501072315.html
7	四国旅客鉄道	2024年12月13日	2025年3月15日	2025年3月ダイヤ改正について https://www.jr-shikoku.co.jp/03_news/press/2024%2012%2013%2003.pdf
8	若桜鉄道	2025年2月19日	2025年3月15日	令和7年春ダイヤ改正に伴う若桜鉄道若桜線の減便について
9	岳南電車	2025年2月25日	2025年3月15日	2025年3月15日(土)岳南電車ダイヤ改正